

(小学校PTA対象) 行政説明および意見交換会資料

宍粟市部活動地域展開

～子どもたちを地域で支える「しそカツ」へ～

しそカツに関する情報はコチラ→



市公式サイト
「しそカツ」QRコード

1. 部活動改革の必要性
2. 穴栗市の現状と課題
3. 部活動から地域クラブ活動へ
4. みなさんが気になる“あれこれ”

学校部活動はスポーツ・文化芸術活動に興味・関心のある生徒が参加し、**各部活動の責任者（部活動顧問）の指導のもと、学校教育の一環として行われ、我が国のスポーツ・文化芸術振興を支えてきた。**



- ・ **全国的な少子化の進行により、学校単位での部活動の存続が困難な状況になっている。**
- ・ **教職員の働き方改革により、学校の教師のみに頼る従来どおりの指導体制は維持できない。**

国の動向

少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するために、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用し、社会全体で支える仕組みの構築が必要。



生徒の活動機会の維持にとどまらず、多種多様な体験の実現や、良質な指導等とおした活動の質向上、地域社会の維持・活性化等につながることも期待。

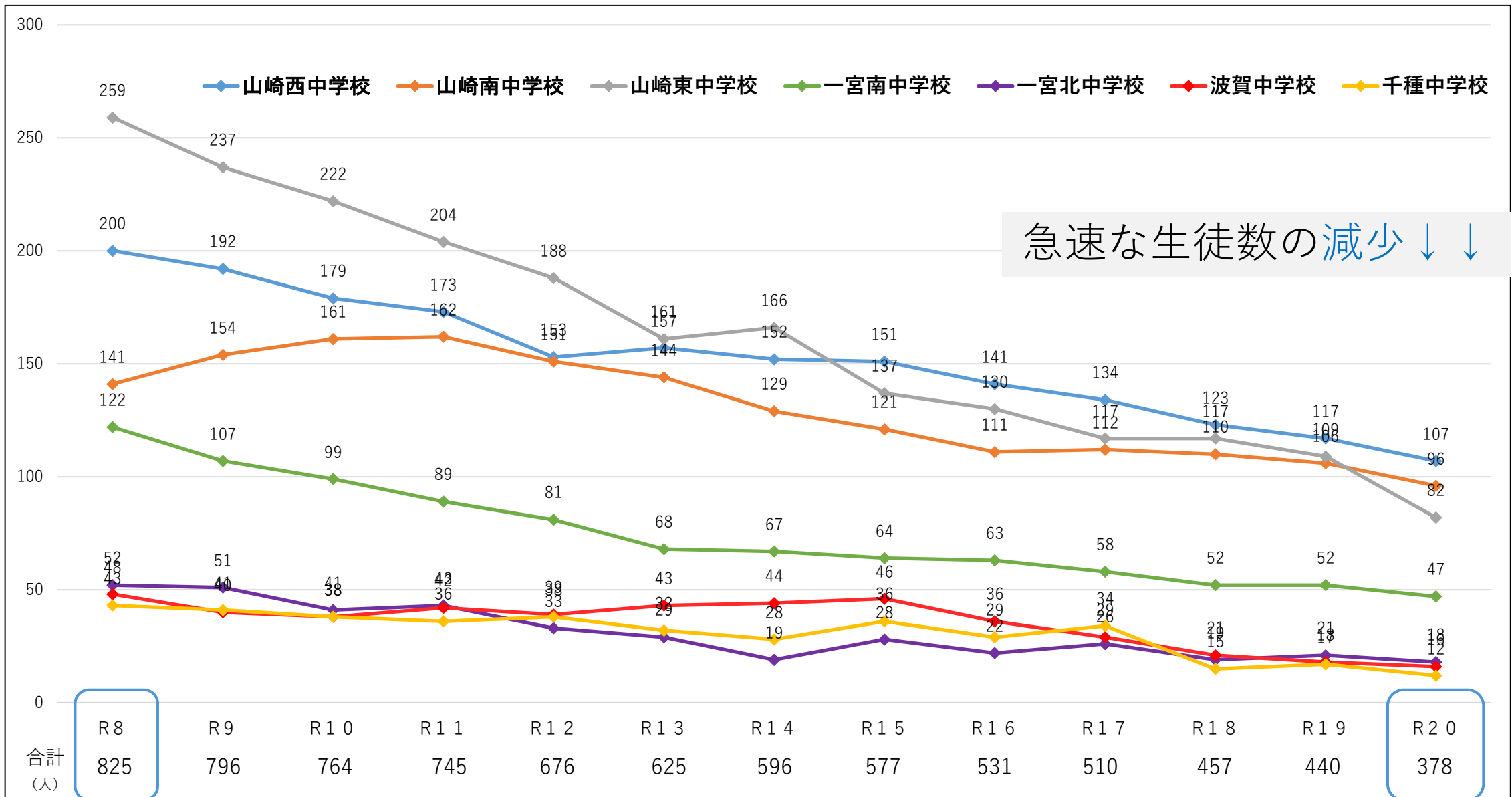


「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」（令和7年12月）を策定し、令和13年度までを「改革実行期間」として、すべての学校部活動において平日・休日における地域展開等の実現をめざす。

1. 部活動改革の必要性
2. 宍粟市の現状と課題
3. 部活動から地域クラブ活動へ
4. みなさんが気になる“あれこれ”



中学校別生徒数の推移予想 (令和8年4月1日時点)



中学校部活動種目別加入状況 (令和8年5月時点)

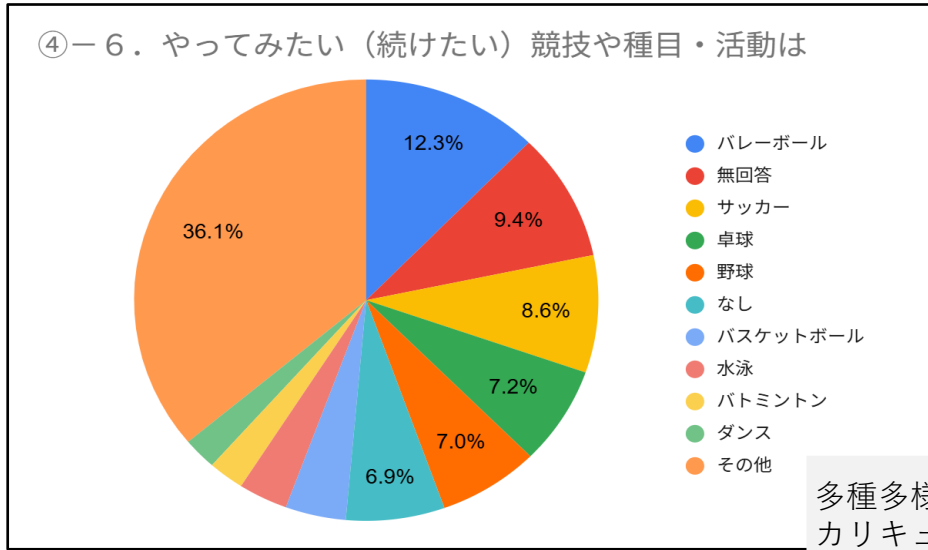
	種目	山崎西	山崎南	山崎東	一宮南	一宮北	波賀	千種	全体	備考
学校生徒数		188	138	243	117	51	49	40	826	
学校部活動	野球	23	8☆	19	5△	11△	9☆		75	☆△は合同チーム
	ソフトボール	14○	15◇	16	4○	3◇			52	○◇は合同チーム
	サッカー	15		15					30	
	男子バレー	10	11□	30	20		3□		74	□は合同チーム
	女子バレー	13	14	25	19	11	8	9	99	
	男子卓球	19	17	29	17	8	7	16	113	
	女子卓球	12	10	20	15		6	7	70	
	陸上		11	20					31	
	剣道	6	6						12	
	バスケットボール			13					13	
	柔道				5				5	
	水泳			1					1	
	吹奏楽	30	26	22	13	12	9		112	実証事業(地域連携)
	美術(文化)	22		10					32	実証事業(地域連携)
入部生徒数		164	118	220	98	45	42	32	719	
未入部生徒数		11	7	8	2	3	3	8	45	
部活加入率		87.2%	85.5%	90.5%	83.8%	88.2%	85.7%	80.0%	87.0%	
地域クラブ	剣道	1	6						7	実証事業
	カヌー						1		1	実証事業 参加生徒は卓球部と兼部
	男子バレー	3	1	3					7	実証事業
入会生徒数		4	7	3			1		15	
地域クラブ加入率		2.1%	5.1%	1.2%			2.0%		1.8%	
その他クラブ	その他クラブ	9	6	12	17	3	3		47	

学校の小規模化が進み、
従来同様の学校単位に
よる活動が困難

生徒数の減少により、
廃部・休部となる競技
種目が多数

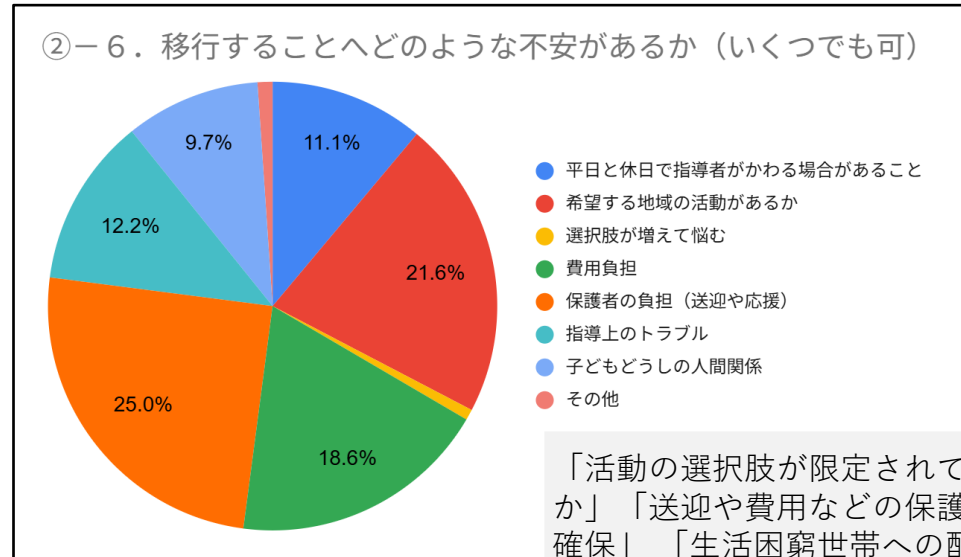
部活動の地域展開に関するアンケート調査 (令和7年2月実施)

(対象) 小学5.6年生 集計結果 (一部抜粋)



多種多様な競技・カリキュラム

(対象) 保護者 (小学校5.6年生、中学生1.2年生) 集計結果 (一部抜粋)



「活動の選択肢が限定されてしまうのではないか」「送迎や費用などの保護者負担」「指導者の確保」「生活困窮世帯への配慮」といった不安。

その他回答の例

eスポーツ	競技かるた	体操教室	ゴミ拾い	調理部	茶道	キャッチボール	空手
アーチェリー 弓道	リサイクル活動	茶華道	絵画教室	縄跳び	将棋	クライミング	剣道
ジュニアバンド	スケートボード	お絵かき	ピアノ	球技	読書	デザイン系	生け花
プログラミング	スノーボード	クリケット	文化活動	新体操	歌	ボランティア活動	ゴルフ
イラストレーター	ソフトボール	金管バンド	スキー	吹奏楽	弓道	ラクロス	陸上
楽器(ウクレレ)	ハンドボール	軽音楽部	テニス	華道	野外	ランニング	料理
カーリング	タブレット学習	よさこい	マラソン	英語	合気道	ドッチボール	水泳

その他回答の例

土日の送迎は行けても、平日の送迎は難しい。
学校の先生と指導者の連携がとれるか不安。指導してくれる外部の人材があるのか。
子どもがしたい活動がないのでは。クラブに参加しない・できない子どもが成長機会を失うこと。
地域クラブに入らない子が増えるのではないかな。やる気のない子に育ちそう。
トラブルや不安があったときに相談先はあるのか。一般の指導者への信頼性。
今まで部活動に入ることが当たり前であったところから、クラブ活動をしない選択をする子が増え、スポーツ(文化芸術)活動の魅力を知らないままになってしまう。中学校生活が充実しなくなるのでは。
活動制限、時間制限で練習量が減ることで、体力の低下を招くのでは。また、時間を持て余すことで、余計な心配ごとが増えそう。
生活困窮世帯や、ひとり親世帯への支援。

1. 部活動改革の必要性
2. 宍粟市の現状と課題
3. 部活動から地域クラブ活動へ
4. みなさんが気になる“あれこれ”

学校部活動と地域クラブの違い

	学校部活動 学校教育の一環 (教育課程外)	地域クラブ活動 (しそカツ) 社会教育の一環 学校部活動の意義の継承・発展+新たな価値の創出
活動主体	各中学校	各地域クラブ (認定地域クラブ)
指導者	当該校の教職員	地域の指導者
参加者	当該校の生徒	地域の生徒等 (ほかの世代と一緒に参画する場合を含む)
活動場所	当該校の施設	学校施設、社会教育施設、地域の施設 等
費用負担	部費	会費 (可能な限り低廉な参加費、保険料等)
補償	生徒：日本スポーツ振興センター共済 教職員：公務災害 ※学校管理下	スポーツ安全保険 等 ※学校管理下外



子どもたちの
ニーズを反映

多様な活動機会
から選択可能

地域の幅広い
生徒との
つながり

幅広い世代・
属性間の交流

専門性の高い
指導

引退のない
継続的な活動

宍粟市がめざす地域クラブ活動のカタチ

i 子ども自身の興味・関心に合わせて活動の選択



地域クラブと民間のクラブチームに入って大会上位をめざしたい！

Aさん

月	学 校	地域クラブ (スポーツ)
火		クラブチーム
水		
木		クラブチーム
金		地域クラブ (スポーツ)
土		地域クラブ (スポーツ)
日		



地域クラブに入り、塾にも通いたい！

Bさん

月	学 校	
火		塾
水		地域クラブ (文化芸術)
木		塾
金		
土		
日		地域クラブ (文化芸術)



スポーツと文化芸術両方を楽しみたい！でも、週末は自分の時間が欲しい！

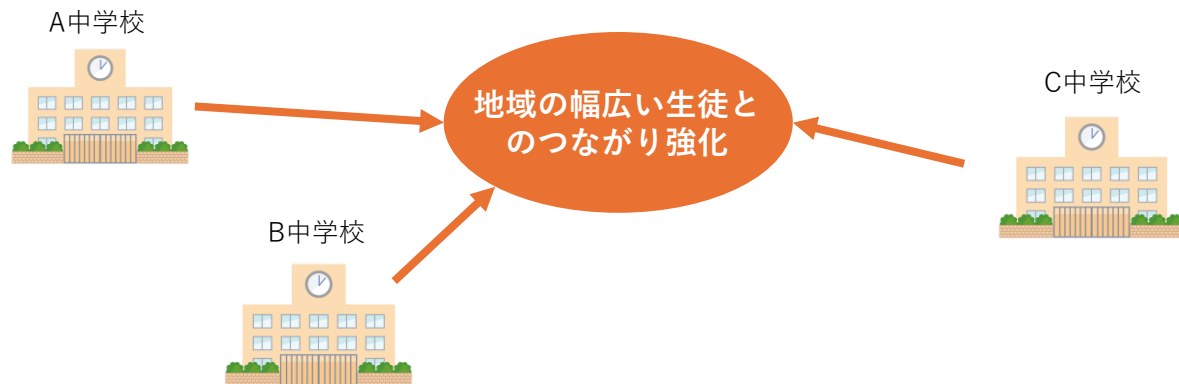
Cさん

月	学 校	地域クラブ (スポーツ)
火		
水		地域クラブ (スポーツ)
木		
金		地域クラブ (文化芸術)
土		
日		

ii 幅広い世代との豊かな交流



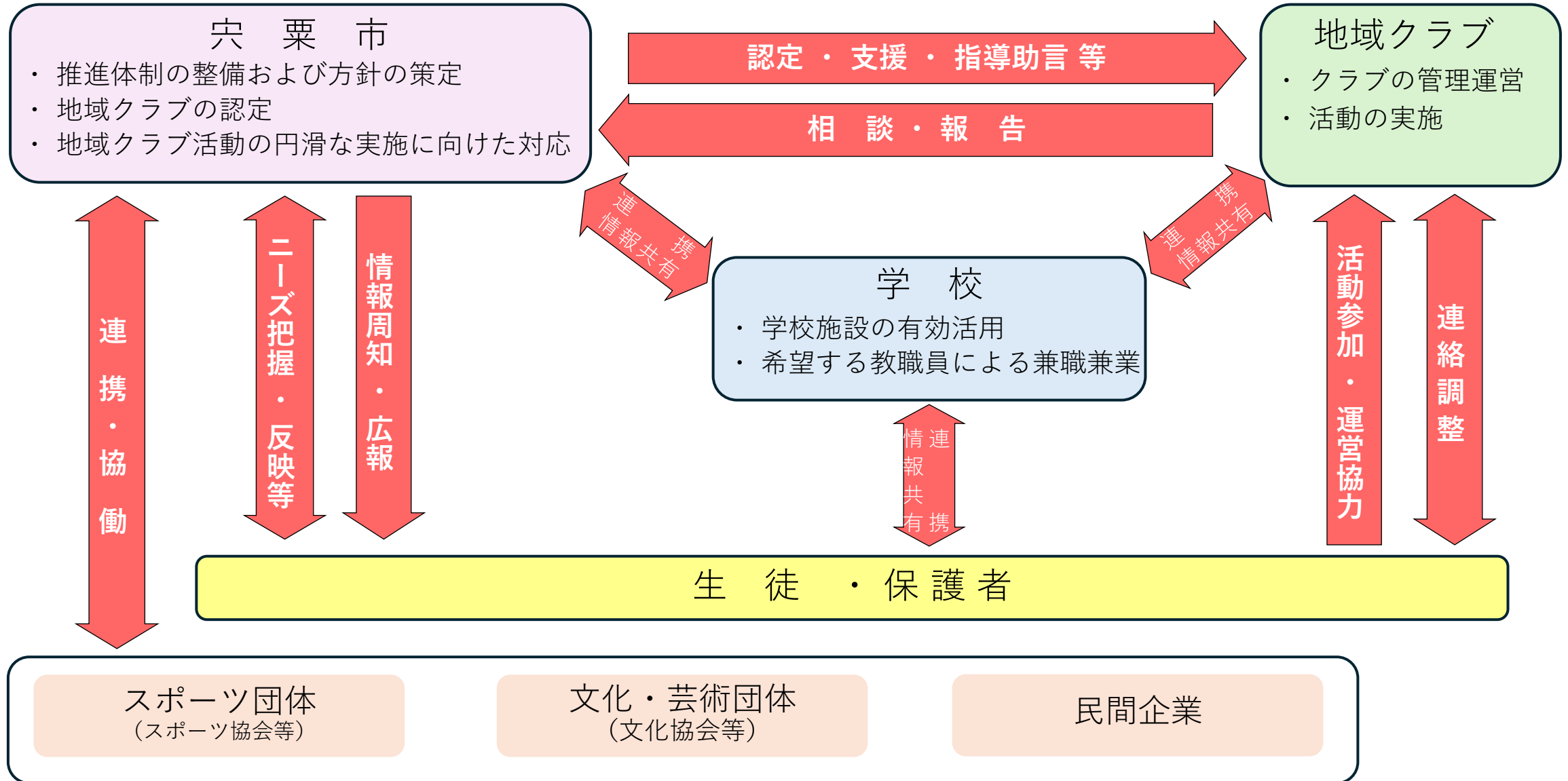
iii 学校区の垣根を超えた仲間とのつながり



iv 引退のない継続的な活動



関係機関との連携・協力体制



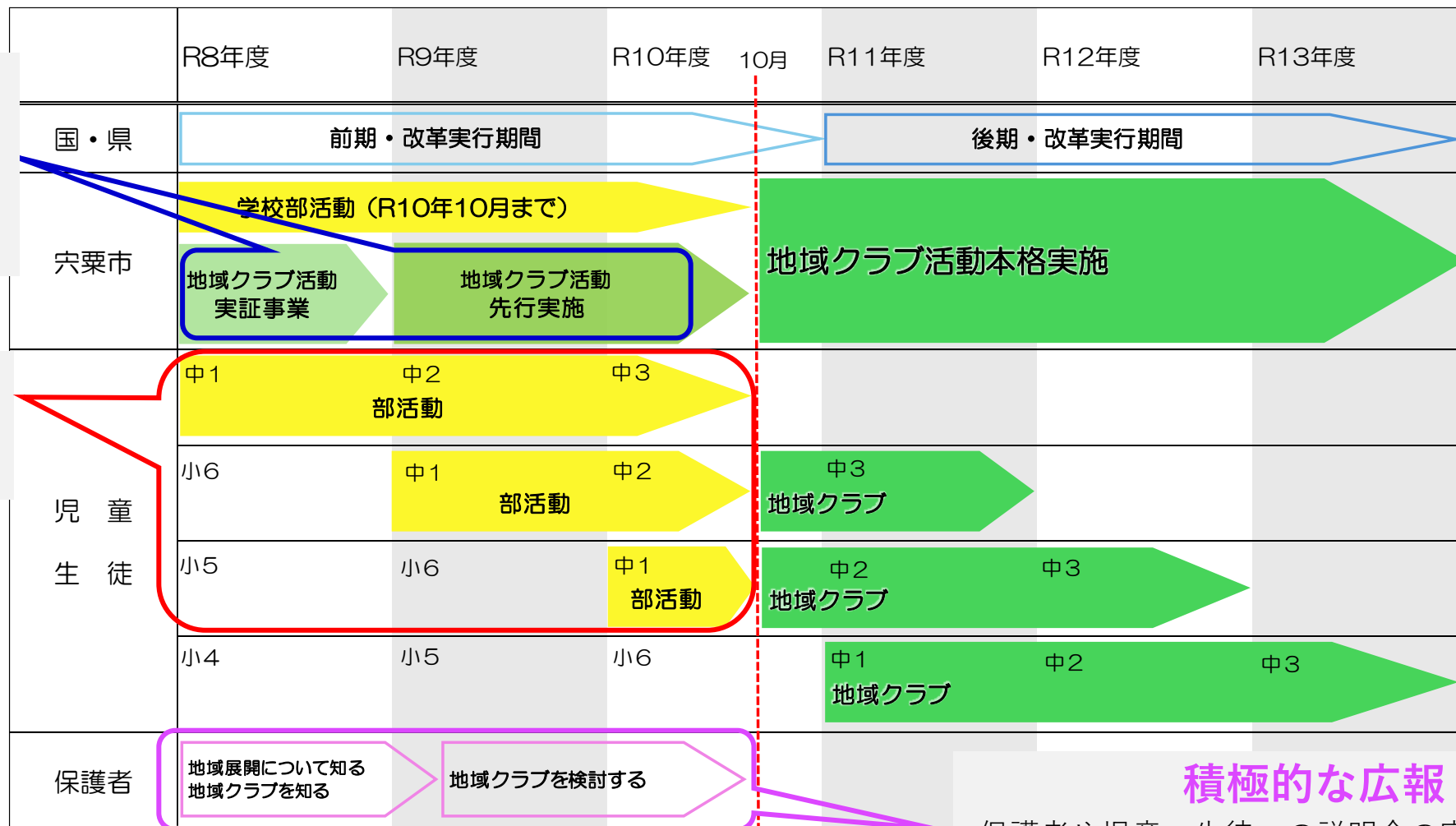
令和10年10月からの本格実施に向けたスケジュール

地域の受け皿

スムーズに地域へ展開できるように地域クラブの創設・選択肢の拡大をめざす

過渡期

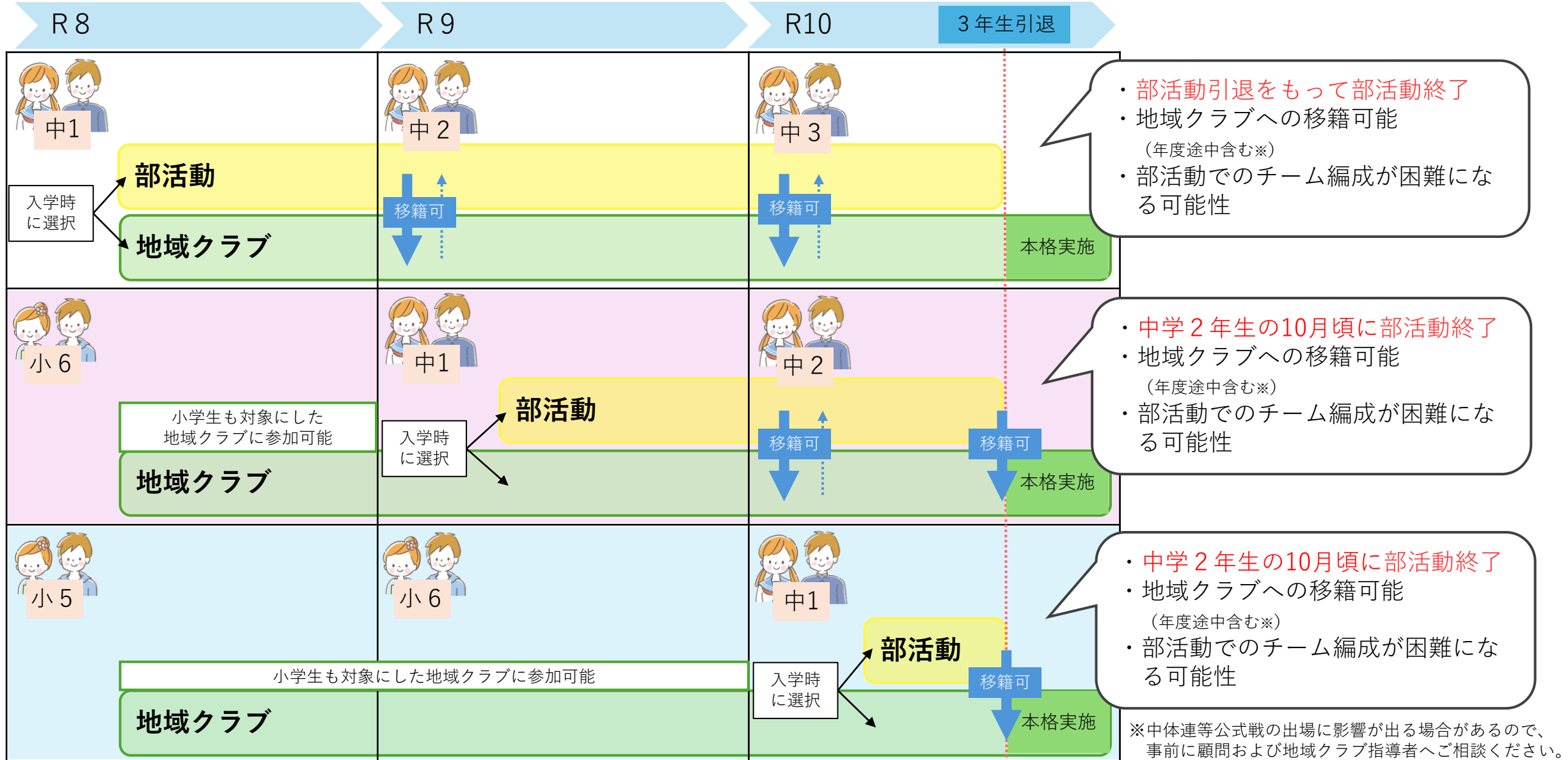
地域、学校、行政が連携した対応が重要



積極的な広報

保護者や児童・生徒への説明会の実施や、広報しろう・公式ホームページ等での定期的な周知

過渡期にあたる児童・生徒への対応



【備考】 現小学4年生以下の児童については、中学校入学時には本格実施後となるため、地域クラブのみ選択可となります。

※中体連等公式戦の出場に影響が出る場合があるので、事前に顧問および地域クラブ指導者へご相談ください。

先行している部活動地域展開の活動紹介 ※令和8年6月時点



※地域連携…学校部活動（顧問）と地域クラブ（地域人材）が連携して活動を行うもの

スポーツ

宍粟剣道連盟（中学部）



競技種目	剣道
参加生徒数	7人 (うち中学生7人)
指導者数	7人
活動拠点	北秀館道場 他
対象	市内中学生
募集範囲	市内全域
会費	入部費5,000円 月会費3,000円
活動日	火 17:00~18:30 木 18:30~20:30 金 17:00~18:30 土・日 月2回程度

宍粟市カヌークラブ



競技種目	カヌー
参加生徒数	3人 (うち中学生2人)
指導者数	7人
活動拠点	音水湖
対象	小学4年生~ 高校生
募集範囲	市内全域
会費	1回500円 保険料800円
活動日	土 9:00~12:00

山崎ヴォルテックス



競技種目	バレーボール (男子)
参加生徒数	9人 (うち中学生9人)
指導者数	8人
活動拠点	山崎西小学校
対象	市内中学生
募集範囲	市内全域
会費	月会費3,000円
活動日	月 18:00~20:30 水 19:30~21:00 金 18:00~20:30 土 13:00~16:00

しろうユースウィンド (地域連携※)



競技種目	吹奏楽
参加生徒数	112人 (うち中学生112人)
指導者数	10人程度
活動拠点	市内
対象	市内中学生
募集範囲	市内全域
会費	年会費1,000円
活動日	・合同講習会の実施 (年間4回) ・複数校での練習

文化芸術

美術部 (地域連携※)



競技種目	美術
参加生徒数	32人 (うち中学生32人)
指導者数	1人
活動拠点	山崎西中学校 山崎東中学校
対象	山崎西中美術部 山崎東中文化部
募集範囲	
会費	
活動日	各校月1回程度、講師が学校に出向き指導を行う

1. 部活動改革の必要性
2. 穴栗市の現状と課題
3. 部活動から地域クラブ活動へ
4. みなさんが気になる“あれこれ”

みなさんが気になる“あれこれ”

子どもたちの選択肢について



地域クラブの活動状況などの詳細な情報はどうしたら分かるの？また、見学や参加を希望する場合はどうすればいいの？

市公式サイトおよび、小学校6年生対象の入学説明会や、各中学校での部活動紹介において地域クラブの紹介をします。また、市公式サイトにて練習日程や活動場所、代表者の連絡先等の詳細を掲載していきますので、参加（見学）を希望される場合は、各クラブへ直接連絡をしてください。



運営体制・学校等との連携について



部活動指導員を配置するなどして、このまま部活動を残すことはできないの？

部活動指導員を配置しても、学校の施設管理や大会運営事務などは教員が担うケースが多く、根本的な学校の業務改善にはつながりにくいこと、また、少子化により学校単位では部員が確保できず、活動の継続自体が困難な種目が出ていること、そして、活動の選択肢を広げ、子どもたちの成長の場を未来へつないでいくためにも、この部活動地域展開が必要な取組みとして、皆さまのご理解・ご協力をお願いします。



みなさんが気になる“あれこれ”

指導体制と安全管理について



活動中（移動中）の事故やケガにはどう対処したらいいの？また、その場合の責任はどこにあるの？

活動中における責任（施設の不備等を除き）の所在は各クラブにあります。そのため、参加者および指導者は、自身のケガ等を補償する保険に加入することとなっています。



保護者の負担について



活動場所が遠かったらどうやって行けばいいの？移動手段の支援はないの？

習い事と同様に、自転車での移動や、保護者の送迎が原則となりますが、市域が広いため、公共交通機関およびスクールバスの活用も含めた検討を進めています。しかし、全ての送迎を網羅することは、地理的、費用面等で難しいと考えています。





宍粟の子どもたちを“まんなか”に